

スミスネズミ

全身が赤茶色からこげ茶色で、背と腹側は淡い黄色から橙色です。尾が短く耳が周りの毛に隠れるぐらい小さいです。姿、形はハタネズミに似ています。

山地の森林やササ藪(やぶ)、沢ぞい、植林地や山あいの畑に生息し、湿り気のあるところを好みます。

草、木の葉や芽、ドングリ、ヤマグワなどの実を食べます。イタチ、オコジョ、フクロウ類、ヘビ類などに捕えられて食べられてしまいます。

子供を産む期間は、中部地方のやや高い山では春から秋、四国や広島以西の低地では秋から春、四国のやや高い山では春と秋の2回となり、一度に1~4頭生みます。



富士市での現状

一般的に大きな山に繋がった低地から高い山まで分布します。静岡県内では南アルプス、朝霧高原、伊豆半島などで捕まえた記録があり、富士市内では須津川と大淵の標高の高い所で確認しました。

スミスネズミを確認したメッシュ

